

第40期 (2026年3月期)

決 算 公 告

(2025年 4月 1日 から
2026年 3月 31日 まで)

兵庫県西宮市高畑町4番27号

伊藤ハムミート販売西株式会社

貸 借 対 照 表

(2026年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	24,083,355	流動負債	16,388,863
現金及び預金	375,346	買掛金	14,325,937
電子記録債権	858	未払金	813,467
売掛金	16,895,430	未払費用	87,182
商品及び製品	3,998,878	預り金	24,772
貯蔵品	5,182	賞与引当金	402,594
前払費用	57,512	役員賞与引当金	14,169
未収金	4,180	未払法人税等	672,448
関係会社預け金	2,746,752	未払消費税等	37,389
立替金	139	リース債務	6,156
仮払金	73	前受金	4,745
貸倒引当金	△1,000		
固定資産	1,580,578	固定負債	265,282
有形固定資産	342,061	特定従業員退職給付引当金	3,539
建物	124,563	預り保証金	80,074
構築物	2,977	資産除去債務	106,997
機械装置	21,166	長期リース債務	21,647
車輛運搬具	165,625	繰延税金負債	53,024
工具器具備品	2,451		
リース資産	25,276	負債合計	16,654,146
無形固定資産	1,396	純資産の部	
ソフトウェア	1,396	株主資本	9,009,788
投資その他の資産	1,237,121	資本金	90,000
長期営業債権	2,949	資本剰余金	450,000
長期前払費用	166	資本準備金	-
出資金	5,005	その他資本剰余金	450,000
前払年金費用	951,550	利益剰余金	8,469,788
差入保証金	280,399	利益準備金	22,500
貸倒引当金	△2,949	その他利益剰余金	8,447,288
		別途積立金	112,000
		繰越利益剰余金	8,335,288
		評価・換算差額等	-
		純資産合計	9,009,788
資産合計	25,663,934	負債・純資産合計	25,663,934

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

注記事項

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産

仕掛品、原材料及び貯蔵品 月別移動平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法

(リース資産を除く)

ただし、1998年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)及び、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。

無形固定資産

定額法

(リース資産を除く)

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金

売上債権等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

役員賞与引当金

役員賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

・退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

・数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定年数(12年)による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(12年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

4. 収益及び費用の計上基準

商品又は製品の販売に係る収益は、主に卸売又は製造等による販売であり、顧客との販売契約に基づいて商品又は製品を引き渡す履行義務を負っております。

当該履行義務は、国内販売については、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間であるため、商品又は製品の出荷時点において充足されると判断し、出荷時点で収益を認識しております。国外への販売については、輸出の取引条件による在庫の保有に伴うリスクが顧客に移転する時点で収益を認識しております。

当期純損益金額

当期純利益 2,286,926千円

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。